

物流の24年問題 来月6日シンポ

県が大垣市で

トラック運転手の残業規
制強化に伴う人手不足など
「物流の2024年問題」を

考えるシンポジウムが9月
6日午後1時半〜4時、大
垣市加賀野のソフトピアジ
ャパンで開かれる。

物流の社会的重要性を再
認識し、問題をいかに乗り
越えていくかを共に考えよ
うと、県が県トラック協会
の協力で開く。流通経済大
流通情報学部の大島弘明教
授が「荷主企業と物流事業
者でサプライチェーンを支
えよう」と題し基調講演を
行う。また、大島教授に加
えて秋田屋本店城南事業所
の太田賢二所長、バローホ
ールディングス流通技術本
部の上口隆一物流部長、エ
スラインギフ営業部の鈴木
政隆次長、佐藤産業の佐藤
裕昭社長がパネルディスカ
ッションを行う。

定員180人で、30日ま
でに申し込む。問い合わせ
は、物流2024年問題対
策事業運営事務局(岐阜新
聞社営業局内)、電話05
8(264)1158。特
設サイトからも申し込みが
できる。「物流2024年
問題 岐阜」で検索する。

(山田俊介)